

【国指定・重要文化財（建造物）】

ふるいちけじゅうたく

古市家住宅

平成6年7月12日指定



■ 所在地 熊毛郡中種子町坂井

■ 所有者 個人

■ 特徴

古市家住宅は、種子島領主である種子島氏の家臣であった古市源助が、弘化3(1846)年に建てた武家住宅です。屋根は瓦葺(かわらぶき)で、正面は入母屋造(いりもやづくり)、背面は切妻造で、南側にあるカミノザは、トコとタナを持っています。種子島に現存する最古の類に属し、島内を代表する建築物として文化財的価値が高い住宅です。また屋敷地の環境も良好で、住宅とともに歴史的風致を形成している点でも貴重です。平成13年・14年に老朽化とシロアリ被害のため解体改修工事を行いました。